

製品安全データシート(MSDS)

製造者情報

会社名 ジェフコム株式会社
住所 〒579-8014 東大阪市中石切町 3-13-16
担当部門 品質管理課
電話番号 072-988-3813 FAX 番号 072-988-3800

作成 2006年7月8日
改訂 2008年5月23日

整理番号 MSDS 06-001

製品名 カッティングペースト (CP-100D)

[組成、成分情報]	単一製品・混合物の区別:混合物	官報公示 CAS No.
化学名	含有量 化学式又は構造式 (wt%)	整理番号
全て石油系炭化水素	100% 特定できない	該当しない

[危険有害性の分類] 分類の名称:分類基準に該当しない

危険性: 消防法 危険物 第四類第四石油類

有害性: 現在までのところ有用な情報なし。

環境影響: 現在までのところ有用な情報なし。

[応急措置]

目に入った場合: 流水で15分間以上洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: 皮膚に付着した部分を水又は石鹼で洗う。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起こった場合は、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで医師の診断をうける。口の中が汚染されている場合には水で十分に洗うこと。

[火災時の措置]

- 消火方法:
- 1.火元への燃焼源を断つ。
 - 2.初期の火災には、粉末、炭酸ガス消化剤を火元に放射、散布するなどして消火する。
 - 3.大規模火災の際は、泡消火剤等を用いて空気を遮断する方法が有効である。
注水は火災を拡大し危険な場合がある。。
 - 4.周囲の設備などは散水して冷却する。
 - 5.消火活動の際は風上から行い必ず保護具を着用する。
 - 6.周辺火災の場合は速やかに製品を安全な場所に移動する。

消化剤: 霧状の消化液、泡、粉末、炭酸ガス消化剤が有効である。消化に棒状の水を用いてはならない。

[漏出時の措置]

- 1 全ての着火源を速やかに取り除く。
- 2.少量の場合は常温固化後、ヘラにて回収後、ウエス等で拭き取る。
- 3.大量の場合は、作業の際には必ず防護具を着用する。出来るだけ空容器に回収する。河川、下水道等に排出されない様に注意する。
4. 海上の場合は、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、ネットですくい取る。

[取扱い及び保管上の注意]

- 取扱い:
- 1.指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
 - 2.炎、火花又は高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。
 - 3.常温で取り扱うものとし、その際、水分、きょう雑物の混入に注意すること。
 - 4.容器から取り出すときは絞り出して使用すること。

- 5.皮膚接触、健康障害の原因となるので、極力直接接触を避ける。
- 6.取扱いの都度、容器を密閉すること。

- 保管:**
- 1.冷暗所で換気の良い場所に保管すること。
 - 2.類の興なる危険物(ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触ならびに同一場所での保管を避ける。
 - 3.保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類はアースをとる。
 - 4.危険物貯蔵所の表示をして保管する。
 - 5.熱、スパーク、火災ならびに静電気蓄積をさける。

[暴露防止及び保護措置] 防護メガネ、保護手袋、防毒マスクを着用すること。

- 保護具:**
- 1.呼吸保護具: 通常必要ないが、必要に応じ防毒マスク (有機ガス)を使用する。
 - 2.保護眼鏡: 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
 - 3.保護手袋: 長期間又は繰り返し接触する燭合には、耐油性のものを使用する。
 - 4.保護衣: 長期間にわたり取扱う場合又は濡れる場合は、耐油性の長袖作業服等を着用する。濡れた衣服は、直ちに脱ぎ完全に洗浄してから再使用する。

[物理及び化学的性質]

- | | |
|----------------------------|---------|
| 外観等: | 黄色ペースト状 |
| 揮発性: | データなし |
| 溶解度 水: | 不溶 |
| 密度(15°C)g/m ³ : | 約 0.87 |
| 反応: | 中性 |
| 流動点: | 45°C以上 |

[危険性情報]

- | | |
|-------------|-------------------|
| 引火点(COC): | 210°C以上 |
| 発火点: | 推定データなし |
| 爆発限界: | 上限:7% 下限:1% (推定値) |
| 可燃性: | 有り |
| 発火性(自然発火性): | 無し |
| 水との反応性: | 無し |
| 酸化性: | 無し |
| 自己反応性・爆発性: | 無し |
| 安定性: | 安定 |
| 反応性: | 強酸化剤との接触を避ける。 |

[有害性情報] (人についての症例、疫学的情報を含む)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 皮膚腐食性: | 無し |
| 刺激性:(皮膚、眼) | 長期または繰り返し接触する場合、刺激性ある恐れあり。 |
| 感作性: | データなし |
| 急性毒性(LD50): | 経口 ラット LD50:5g/kg 以上(推定値) |
| 亜急性毒性: | データなし |
| 慢性毒性: | データなし |
| がん原性: | IARC グループ 3 |
| 変異原性: | データなし |
| 生殖毒性: | データなし |
| 催奇形性: | データなし |
| その他 | 有用な情報なし |

[環境影響情報]

- | | |
|------|----------------|
| 分解性: | 現在のところ有用なデータなし |
| 蓄積性: | 現在のところ有用なデータなし |
| 魚毒性: | 現在のところ有用なデータなし |

[廃棄上の注意] 産業廃棄物として、廃棄処理を行うこと。

[輸送上の注意]

容器の転倒、落下等の粗暴な取り扱いをしない。
引火性液体であり、火気厳禁とする。
消防法危険物の第一類及び第六類とは混載しない。

[適用法令]

- 1.衛生法及び化審法の既存化学物質名簿への登録
- 2.消防法:危険物 第四類、第四石油類
- 3.廃棄物の処理及び清掃に関する法律:産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)
- 4.海洋汚染防止法:油分排出規制(原則禁止)
- 5.水質汚濁防止法:油分排出規制(5mg/L許容濃度)ノルマルヘキサン抽出分として検出される
- 6.下水道法:鉱油類排出規制(5mg/L)

[その他の情報] 用途: ドリルの刃先に少量塗布し切削加工熱で磨耗・破損を減少さす。

- ①改正建築基準法(H14/7/12 施行)で規制された化学物質(クロルピリホス及びホルムアルデヒド)は当製品には一切含まれていません。
 - ②本データシートは当該製品の一般的取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めた物ですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正をすることがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは、安全性の評価を行って下さい。本データシートは保証値ではありません。
-